

## 一病気のストレスで脱毛 心臓病のポメラニアンパルクーン

私自身が気功教室に通っているのですが、動物愛護団体ハッピーハウスにボランティアで動物たちへの気功治療にいらっているのをきいて、我が家の愛犬11歳のパルクを診てもらうことにしました。

パルクは心臓病で2年ほど前から朝晩、1日2回の薬を飲ませています。

薬を忘れてしまうと、ゼエゼエと息苦しくなるため、薬がかかせない生活だったのですが…

気功で治療をはじめからは、1日2回ではなく、2日に1回程度、薬を飲ませればいよいよになり、咳がでる時には、用意してもらった気のカードを、パルクの胸にあててあげると気持ちよさそうな表情になり、ウトウトと寝てしまうくらい、リラックスするようになりました。

そして、心臓病のストレスからか、背中が抜け落ちてしまうようになり、散歩中、他の犬に負けてしまうこともあったのが、気功の効果もあってか元気な様子と、ストレスがなくなってきたのが、抜け落ちてしまった毛も生えそろうてきて、今では元通りのフサフサの状態に戻りました。